

## 取扱説明書(基本ガイド)

モニター壁掛け式 ワイヤステレビドアホン	
アイエル イージーセット 品番 <b>VL-SGZ30</b>	(右記①②の セット)
モニター壁掛け式 ワイヤステレビドアホンキット (ホームネットワークシステム)	
アイエル イージーセット ケイ 品番 <b>VL-SGZ30K</b>	(右記①②③ のセット)

ワイヤレス  
玄関子機  
(ドアホン)



VL-VD561

①

モニター機  
電源コード式



VL-MGZ30

②

ホーム  
ユニット



VL-HB1000

③

確認・  
準備

モニター機  
の機能

必要な  
とき

困った  
とき



ホームネットワークシステムでは、外出先でも  
来客に対応できます！



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書 別添付
設置説明書 別添付

パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で  
「**ご愛用者登録**」をお願いします。(詳細はP.46)

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(P.6～8)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 本書に記載のイラストや画面はイメージです。実際とは異なる場合があります。

本製品に  
ついて

- 侵入や盗難などを防止することを目的とした製品ではありません。
  - 無線通信を利用した商品であるため、混信や干渉により意図どおりに機能を使用できないことがあります。
- 上記に起因した事件・事故および損害の発生などについて、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## ワイヤレス玄関子機 (本書の表記：**ドアホン**)

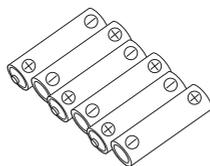


暗いときは

**LEDライトが自動で点灯！  
被写体をカラーで映します。**

- LEDライト(照明)は、モニター機  
の操作で手動OFF/ONすることも  
できます。(P.21)
- 接続は1台のみです。(増設はでき  
ません)

## 配線不要の電池式！



市販の単3形電池  
(6本)をお使いい  
ださい。

**推奨電池(パナソニック製)**  
◆エネルギー ハイエンドモデル  
◆充電式エボルタ ハイエンドモデル

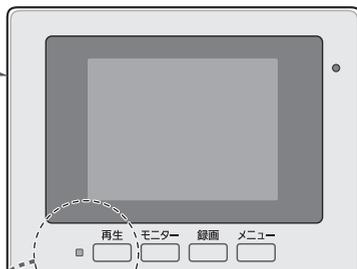
- 電池の寿命や、その他の電池のご利用  
などについて詳細は(P.34)

## 来客映像を自動で録画！



- 手動での録画も含めて、最大100  
件(1件につき静止画3枚)を本体  
に録画できます。(P.18)

## モニター機



**ランプ(新着ランプ)の点灯で、留  
守中の来客(録画)をお知らせ！**

- ランプの点灯は、再生  を押して録画を  
再生すると消えます。(P.19)
- 留守などで新しい録画があってもラン  
プが点灯ないように設定することもで  
きます。(P.23「新着ランプ点灯」設定)

## ホームユニット (VL-SGZ30Kのみ付属)



ホームネットワークシステムの  
すべての機器を制御する主装置です。

- この機器の電源をONにしないと、ドアホンやモニター機も正常に動作しません。

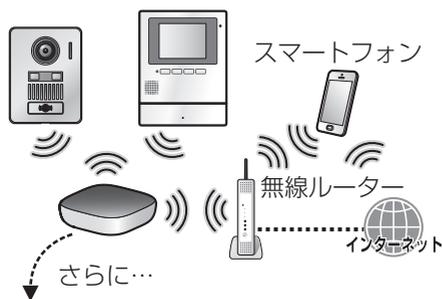
microSD  
カード対応！  
(P.13、35)



- microSDカードを挿入すると、ドアホンの来客映像のほか、ホームユニットに登録した別売のカメラの映像を動画で録画できます。

## ◆ホームネットワークシステムとは？

ホームユニットをお手持ちのスマートフォン<sup>\*1</sup>と連携させることで、宅内や外出先で来客応対したり、気になる場所の様子を確認(モニタリング)できるシステムです。



屋外/屋内カメラや各種センサーなども登録できるので、スマートフォンで見守りなど便利な使いかたができます！(登録できる機器はP.33)

### ご利用には次の準備が必要です

- 「ホームネットワーク」アプリ<sup>\*2</sup>をスマートフォンへインストール
- ホームユニット・無線ルーター・スマートフォン間の接続設定(初期設定)

VL-SGZ30Kをご購入の方は、付属の「スマートフォン連携 接続設定ガイド」をお読みのうえ、設定を行ってください。

## VL-SGZ30をご購入の方へ



別売のホームユニット(KX-HJB1000)と接続すると、VL-SGZ30Kと同様のホームネットワークシステムとしてご利用いただくことができます。(接続の際は、ホームユニットのソフトウェアを最新に更新する必要があります)  
ソフトウェアの更新方法や接続に必要な準備などの詳細は、P.28をお読みください。

※1 本書では、スマートフォン・タブレットを総称して「スマートフォン」と表記しています。

※2 本書では、専用アプリケーション「ホームネットワーク」を「ホームネットワーク」アプリと表記しています。

# もくじ

## 確認・準備

安全上のご注意 .....	6
使用上のお願い .....	8
各部の名前と働き	
(ドアホン・モニター機) .....	10
各部の名前と働き	
(ホームユニット) .....	12
● ランプの表示について .....	12
● microSDカードについて .....	13
モニター機に必要な準備 .....	14
● 日時(時計)の設定 .....	14
● 映像のワイド/ズーム設定 .....	14

### ◆機器の設置や付属品については



「設置説明書」を  
お読みください。

### ◆(VL-SGZ30Kの場合) スマートフォンの接続設定については



「スマートフォン連携  
接続設定ガイド」  
をお読みください。

## モニター機の機能



来客の呼び出しに応答する .....	16
ドアホン側の様子を見る(モニター) ...	17
録画する(自動録画/手動録画) .....	18
● 自動録画について .....	18
● 手動録画について .....	18
● 録画がいっぱいになったとき (録画の自動更新) .....	18
録画を再生する .....	19
● 再生メニューについて (ガイドOFF、画像の保護/消去) ...	19
映像表示中の便利な機能 .....	20
● 表示中の映像をワイド/ズーム、 パン・チルトする .....	20
● 映像表示中のメニューの機能 .....	21
呼出音(音量・種類など)の変更 .....	22
各種設定の一覧と変更方法 .....	22

### ◆連携したスマートフォンの機能や 操作方法については



「ホームネットワーク」  
アプリの取扱説明書  
(電子版)をお読みください。

- 確認方法は本書のP.31へ

## 必要なとき

電波レベルや電池残量を確認する....	24
ドアホンの電池を交換する .....	26
● 使用済みの電池を捨てる時 .....	26
中継アンテナを使用する .....	27
システムを拡張する.....	28
● テレビドアホン (VL-SGZ30) を ホームユニットと接続する .....	28
● ホームユニットに スマートフォンを追加登録する... ..	29
● ホームユニットにカメラなど 様々な機器を登録する .....	30
アプリの取扱説明書 (電子版) の 確認方法 .....	31
機器の減設・連携解除 .....	32
別売品・連携機器一覧 .....	33
仕様 .....	34
商標・著作権・ライセンス .....	36
電波の通信方式について .....	37
セキュリティについて (スマートフォン連携時) .....	38

## 困ったとき

困ったとき .....	40
モニター機でこんな表示が出たら....	43
保証とアフターサービス .....	45
さくいん .....	47

## 安全上のご注意

### 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **危険** 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。



### 電池の取り扱いについて

(市販の充電式ニッケル水素電池・アルカリ乾電池・リチウム乾電池)

## 危険

### 発熱・発火・破裂・液もれを防ぐために

-  **禁止**
- 分解・改造しない
  - 火の中に捨てたり加熱しない
  - (+)(-)端子を金属などに接触させない
  - ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない

-  **!**
- (+)(-)は正しく入れる
  - 市販のニッケル水素電池は専用充電器で充電する

## 危険

### 事故を防ぐために

-  **禁止**
- 液もれたときは、“液”に触れたり目に入れない  
(皮膚や衣服に付いたり目に入ると、皮膚の障害や失明などの原因)  
→ 皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。目に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

## 警告

### 発熱・発火・破裂・液もれを防ぐために

-  **禁止**
- 状態の異なる電池を混用しない  
・新旧の電池、種類(充電式と乾電池、アルカリとリチウムなど)の異なる電池、銘柄・電池容量・充電状態(充電式の場合)の異なる電池など
  - 乾電池を充電しない
-  **!**
- 使えなくなった電池はすぐに取り出す
  - 長期間使わないときは、機器から電池を取り出す
  - 漏液や異臭時は火気から遠ざける

## 注意

### 発熱・発火・破裂・液もれを防ぐために

-  **禁止**
- 指定の電池以外は使用しない
  - 水などの液体でぬらさない
  - 電池に強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
  - ストープのそば、直射日光の強いところなど高温の場所で使用・放置しない



## 本製品全般の取り扱いについて

### 警告

#### 火災・感電・漏電などを防ぐために



- 分解・修理・改造しない  
→ 修理は販売店へご相談ください。
- めれた手で、電源プラグやACアダプターの抜き差しはしない
- 雷が鳴ったら、モニター機・電源プラグ・ACアダプターに触れない
- 湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない
- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
  - ・ 傷つける、加工する、熱器具に近づける、コードに過度なストレスを加える（無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど）  
（傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因）
- 修理は販売店にご相談ください。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100V以外での使用はしない  
（たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因）
- 機器を電子レンジに入れたり、電磁調理機器などに置いたりしない
- 機器内部に金属物を入れない  
→ 金属物が入った場合は、すぐに電源プラグやACアダプターを抜く、または電源ブレーカーを切って販売店へご相談ください。

### 警告

#### 火災・感電・漏電などを防ぐために



- 機器（電源コードやACアダプターを含む）に水をかけたり、ぬらしたりしない  
→ めれた場合は、すぐに電源プラグやACアダプターを抜く、または電源ブレーカーを切って販売店へご相談ください。
- ホームユニットには付属のACアダプター以外は使用しない



- 電源プラグやACアダプターは根元まで確実に差し込む  
（差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因）  
→ 傷んだプラグやACアダプター、ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- 電源プラグやACアダプターのほこりなどは定期的にとる  
（プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因）  
→ 電源プラグやACアダプターを乾いた布でふいてください。
- 煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグやACアダプターを抜く、または電源ブレーカーを切る  
（そのまま使用すると、火災や感電の原因）  
→ 使用を中止し、販売店へご相談ください。
- 電源プラグやACアダプターを抜くときは、プラグやアダプターの本体（金属でない部分）を持って抜く  
（コードを持って抜くと、コードの断線による火災・感電・やけどの原因）



## 警告

### 事故などを防ぐために



#### ■ 医療機器の近くでの設置や使用をしない\*

禁止

・手術室、集中治療室、CCU（冠動脈疾患監視病室の略称）などには持ち込まない

#### ■ 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない\*

（※本機からの電波が医療機器や自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因）

#### ■ ホームユニットは不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁や天井には取り付けない

・石こうボード・コンクリートブロック・凹凸の激しい壁面など（落下によるけが・感電の原因）

#### ■ ホームユニットのmicroSDカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

（誤って飲み込むおそれあり）

➔ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



#### ■ 心臓ペースメーカーの装着部位から 15 cm 以上離す

（本機からの電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合あり）



## 注意

### 事故などを防ぐために



#### ■ モニター機のスピーカーに耳を近づけて使用しない

禁止

（急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こすおそれあり）

## 使用上のお願い

本製品の電波やセキュリティについては、P.37～39をお読みください。

### プライバシー・肖像権について



ドアホンの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

### 通信の傍受について

本製品はデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。

### 電源プラグやACアダプターを差し込む位置は

モニター機の電源プラグやホームユニットのACアダプターは、各機器の設置場所の近くで抜きやすい場所にあるコンセントに差し込み、異常が起きた場合にコンセントからすぐに抜けるようにしておいてください。

## 個人情報について

本製品をご使用になると、次のような個人情報が記録されます。

- 来客映像などの録画データ  
(モニター機の内蔵メモリーや、ホームユニットのmicroSDカード内)
  - お客様自身で登録したネットワーク情報など(ホームユニットの内蔵メモリー内)
- これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

### 〈免責事項〉

記録された情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。記録された情報の変化、消失が生じて、それらに起因する直接または間接の損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

### 〈本製品の修理を依頼するとき〉

- モニター機の録画データは、必要に応じて内容を確認後、消去してください。\*1(録画データの取り出しはできません)
- ホームユニットについて
  - microSDカード(録画データ)は取り出して保管してください。
  - 内蔵メモリーに記憶した情報や設定内容は、初期化して消去してください。\*2
- 故障の状態により、データの消去や初期化などの操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

### 〈本製品を廃棄・譲渡・返却するとき〉

- モニター機の録画データは、消去してください。\*1
- ホームユニットについて
  - microSDカード(録画データ)は取り出してしてください。(microSDカードを廃棄・譲渡するときはP.13)
  - 内蔵メモリーに記憶した情報や設定内容は、初期化して消去してください。\*2

- ※1 モニター機の録画データは、各種設定の「録画再生の設定」→「画像全消去」で消去できます。(P.23)
- ※2 ホームユニットの初期化はスマートフォンを使って行います。P.42の初期化の手順で、「すべての設定を初期化」の操作をしてください。

## お手入れについて

柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞って拭いてください。

### 〈電源プラグやACアダプターを拭くとき〉

安全のため、電源プラグやACアダプターをコンセントから抜いてください。



### お願い

- お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。(変色、変質の原因になります)

## その他

- 分解・改造することは法律で禁じられています。(故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください)
- 設置説明書に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 使用を中止するとき
  - 万一の落下防止のため、壁に設置した各機器を壁から取り外してください。電源線を直結している場合などは、取り外しをお買い上げの販売店にご相談ください。
  - ドアホンの電池は取り外してください。(液もれなどの防止)

# 各部の名前と働き (ドアホン・モニター機)

## ドアホン

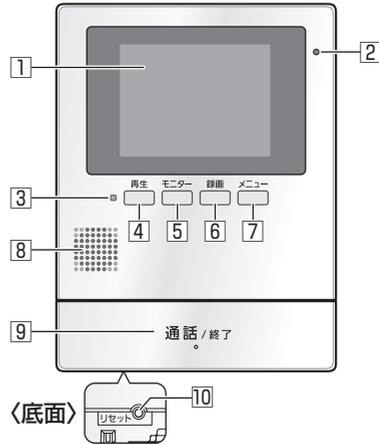


- ① レンズカバー
- ② マイク
- ③ カメラレンズ
- ④ LEDライト(照明用)
- ⑤ スピーカー
- ⑥ 呼出ボタン

## ドアホン映像の画質について

設置環境や使用する時間帯によって、来客や背景の明るさや色味が変わることがあります。(詳細はP.40)

## モニター機



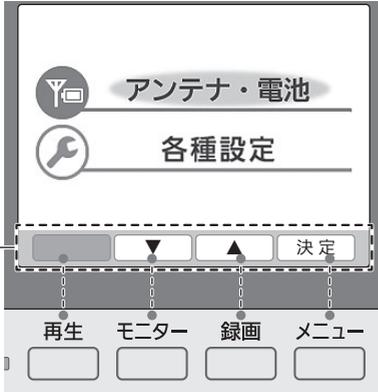
- ① 液晶ディスプレイ
- ② マイク
- ③ 新着ランプ(赤)  
点灯や点滅で状態をお知らせします。(P.11)
- ④ 再生ボタン  
録画を再生します。(P.19)
- ⑤ モニターボタン  
ドアホン側の様子を確認できます。(P.17)
- ⑥ 録画ボタン  
表示中の映像を録画します。(P.18)
- ⑦ メニューボタン  
トップメニューを表示します。(P.11)
- ⑧ スピーカー
- ⑨ 通話/終了ボタン
- ⑩ リセットスイッチ  
動作がおかしいときは、先端の細いもので押してください。(録画した画像、登録した設定内容などは消えません)

- ④～⑦のボタンは、画面下部のボタンガイドで表示される機能进行操作するときにも使います。(P.11)

## モニター機の画面について

### ■ トップメニュー

P.14の「日時(時計)の設定」後、 を押すと表示されます。



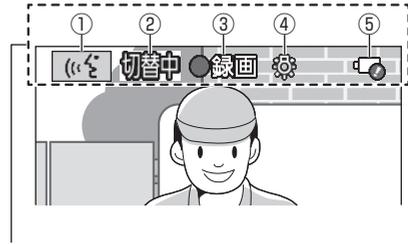
### ボタンガイド

画面下の4つのボタンに対応し、場面に応じた機能やはたらきを表示します。対応したボタンを押して操作を行います。

本書でのボタン表記例：

[▼] () を押す、[決定] () を押す

### ■ 映像表示画面



### 状態表示アイコン

現在の状態をアイコンなどで表します。

番号	意味
①	ドアホンとの通信状態  : 通話中  : プレストーク通話中 (P.16)  : モニター中
②	ワイド/ズーム、パン・チルト操作などで映像を切り替え中
③	録画中
④	ドアホンの照明が「ON」(P.21)
⑤	ドアホンの電池残量が少ない (電池レベルが「1」になっている) ● 早めに電池を交換してください。 (P.26)

## ■ 新着ランプ(赤)の点灯/点滅について

### ■ 点灯しているとき

新しく録画した未確認画像があります。ランプを消すには、録画を再生してください。(P.19)

### ■ 点滅しているとき

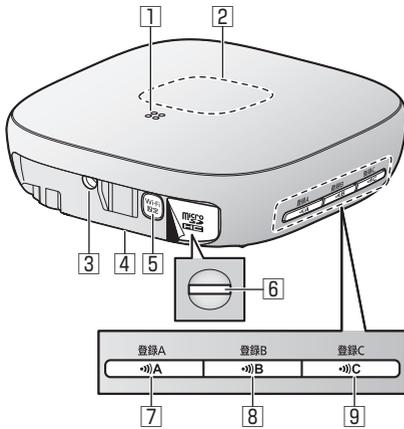
ドアホンの電波が圏外、またはドアホンの電池残量が少なくなっています。ランプを消すには、次の処置をしてください。

- ①  を押す  
アンテナ・電池の情報画面が表示され、現在の状態や対処方法が表示されます。(P.24)
- ② 表示内容に従って適切な処置をする

## 各部の名前と働き (ホームユニット)

ご使用になるには、ホームユニット・無線ルーター・スマートフォン間の接続設定(初期設定)が必要です。

- 初期設定のしかたは、付属の「スマートフォン連携 接続設定ガイド」をお読みください。



- 1 スピーカー
- 2 ランプ(右記)
- 3 ACアダプター差し込み口
- 4 MACアドレス  
底面に記載しています。
- 5 [Wi-Fi設定]  
初期設定を行うときに使用します。
- 6 microSDカード挿入口  
ラベルをはがすと挿入口があります。  
(P.13)
- 7 [A]  
中継アンテナなどを登録するときに使用します。
- 8 [B]  
カメラなどを登録するときに使用します。
- 9 [C]  
センサーなどを登録するときに使用します。

## ランプの表示について

初期設定後は、ランプの色や点灯/点滅によって、ホームユニットの動作や設定状態、無線LANの電波レベルを確認できます。

### 〈動作中の状態表示〉

表示	状態
緑と黄の交互点滅	ホームユニット起動中 (電源投入後の約3分間) ● この間は使用できません。
緑点灯	警戒モード「解除」で動作中
赤点灯	警戒(在宅/留守)モードで動作中
赤点滅(速い)	警戒(在宅/留守)モードで、カメラなどのセンサー反応による報知中

- お買い上げ時は警戒モード「解除」です。
- 動作中はランプを点灯/点滅させないよう設定することもできます。
- 警戒モードやランプの設定について詳細は、「ホームネットワーク」アプリの取扱説明書(電子版)をお読みください。(アプリの取扱説明書の確認方法はP.31)

### 〈無線LANの電波レベルの状態表示〉

ホームユニットと無線ルーターの電波レベルの確認操作時(P.25)は、ランプ表示で電波レベルを確認できます。

表示	状態
緑点灯	電波レベル「強」
オレンジ点灯	電波レベル「中」
赤点灯	電波レベル「弱」
赤点滅(遅い)	電波レベル「圏外」

## microSDカードについて

ホームユニットで録画をするにはmicroSDカードが必要です。ホームユニットは、SD規格に準拠したmicroSDメモリーカード、microSDHCメモリーカードに対応しています。

(本書ではこれらを総称して「microSDカード」と記載しています)



- microSDカードは付属されていません。対応のmicroSDカードの記録容量などの詳細(P.35)をご確認のうえ、市販品をお買い求めください。(パナソニック製品をお買い求めいただくことをお勧めします)
- お手持ちのmicroSDカードなど、他の機器でフォーマットされたmicroSDカードは使用できない場合があります。ご利用の際は次の方法でmicroSDカードをフォーマットすることをお勧めします。
  - ①以下のウェブサイトから「SD/SDHC/SDXCメモリーカードフォーマットソフトウェア」をパソコンにダウンロードする  
[http://av.jpn.support.panasonic.com/support/sd\\_w/download/index.html](http://av.jpn.support.panasonic.com/support/sd_w/download/index.html)
  - ②パソコンでmicroSDカードをフォーマットする(保存されているすべてのデータが削除されます)

## 大切なデータを保護するために

データの損失などにより発生した損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

- データの読み出し中や書き込み中は、microSDカードやACアダプターを抜かないでください。(故障、データ破壊の原因)
- 電磁波、静電気、本機やmicroSDカードの故障などによってもmicroSDカード内のデータが壊れたり消失することがありますので、大切なデータはバックアップをとることをお勧めします。

## microSDカードの挿入

ご使用前にホームユニットのmicroSDカード挿入口のラベルをはがしてください。



### 〈入れるとき〉

microSDカードの文字面(A)を上にして、カチッとなるまで挿入口(B)にまっすぐ押し込んでください。

### 〈取り出すとき〉

microSDカードをカチッとなるまで押し込んで取り出してください。

### 🗣️ お願い

- microSDカードの裏の接続端子部に触れないでください。
- データの読み出し中や書き込み中は、microSDカードを抜かないでください。(故障、データ破壊の原因)

## microSDカードを廃棄・譲渡するとき

microSDカード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

「ホームネットワーク」アプリでの「録画データの消去」、パソコンの機能による「フォーマット」や「消去・削除」では、多くの場合、microSDカード内のデータは完全には消去されません。譲渡の際は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってmicroSDカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。

また廃棄の際は、microSDカードを物理的に破壊するか、microSDカード内のデータを完全に消去して、それぞれの地域ルールに従って、分別廃棄をお願いします。

# モニター機で必要な準備

## 日時(時計)の設定

お買い上げ時は日時が設定されていないため、**メニュー**を押したときに時計設定を促すお知らせ画面が表示されます。  
次の手順で設定してください。

1 **メニュー**を押し、時計設定のお知らせ画面が出たら、**[設定]** (**メニュー**)を押す

2 下記の操作で日時を合わせる

[次へ▶] ( <b>再生</b> )	年・月・日・時・分の項目を選ぶ
[ <b>-</b> ] ( <b>モニター</b> )	数字を選ぶ
[ <b>+</b> ] ( <b>録画</b> )	[押し続けると数字が早く切り替わる]

3 日時を合わせたら、**[決定]** (**メニュー**)を押す

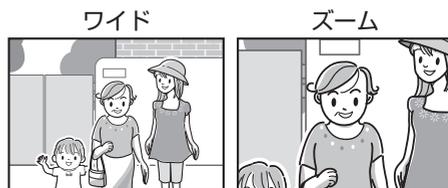
### お知らせ

- 停電時には設定した日時が消えることがあります。その際は再設定してください。
- 時刻は1か月に約60秒ずれることがあります。変更が必要なときは、各種設定の「最初の設定」→「日時設定」で変更してください。(P.22)
- ホームネットワークシステムとしてご利用になる場合は、ホームユニット・無線ルーター・スマートフォンによる初期設定が完了すると、モニター機の日時はシステムから自動取得されるようになります。(モニター機で日時の変更はできなくなります)

## 映像のワイド/ズーム設定

### ワイド/ズーム設定

映像を画面に映し出すとき、次のどちらで表示するかを設定します。



(お買い上げ時の設定) (ワイドの約2倍)

- 来客時・モニター時の表示をそれぞれ設定できるので、来客時はズーム、モニター時はワイドなど、お好みの設定ができます。(初期値はともにワイド)

1 **メニュー**を押す

2 「各種設定」を選び→「最初の設定」を選び→「ワイド/ズーム設定」を選ぶ

項目選択は、次のように操作します。  
[▼] (**モニター**)で選び、**[決定]** (**メニュー**)を押す

3 「来客時」または「モニター時」を選ぶ

4 「ズーム」または「ワイド」を選ぶ

5 終わったら、**[通話/終了]**を押す

### お知らせ

- 「ズーム」設定にすると、ワイド表示の中央部がズーム表示されます。表示位置は「ズーム位置設定」で変更できます。(P.15)
- 録画の際は画面に表示された範囲の映像のみが録画されます。「ズーム」時はズームした範囲の映像のみ録画)

## ズーム位置設定

映像をズームで表示するとき、映像のどの位置をズームするかを設定します。

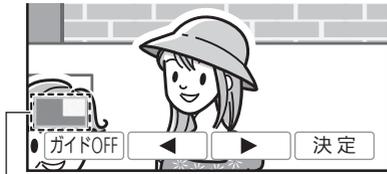
- 人物がなるべく中心に映るような位置を設定してください。

1  を押す

2 「各種設定」を選び→「最初の設定」を選び→「ズーム位置設定」を選ぶ

項目選択は、次のように操作します。  
[▼] () で選び、[決定] () を押す

- 「接続中」の表示後、現在のドアホン映像がズームで表示されます。



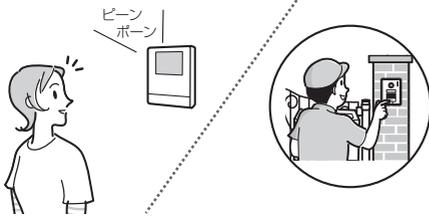
ズーム位置ガイド  
(現在のズーム位置を表示)

3 [◀] () または [▶] () で、ズーム位置を選ぶ

- 押すごとにズーム位置が切り替わります。

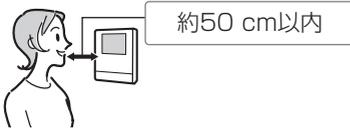
4 設定位置が決まったら、[決定] () を押す

# 来客の呼び出しに 応答する



## 1 呼出音が鳴ったら、映像を確認して

**通話 / 終了** を押し、相手と話す



### 周囲が騒がしく話しにくいとき (プレストーク通話)

①通話中、**通話 / 終了** を約2秒間押す

-  が表示され、プレストーク通話に切り替わります。

②相手と話す

#### ■ 話すとき(送話)

**通話 / 終了** を押したまま話す  
(押している間、相手の声は聞こえません)

#### ■ 聞くととき(受話)

**通話 / 終了** から指を離す(こちらの声は相手に聞こえません)

2 終わったら、**通話 / 終了** を押す

## お知らせ

- 着信(ドアホンからの呼び出し)について
  - テレビドアホンのみ(ホームユニット接続なし)でご利用の場合は約20秒です。
  - ホームネットワークシステム(ホームユニット接続あり)でご利用の場合は約30秒です。
- 通話は約1分で自動的に終了します。
- 通話時は相手と交互に話してください。同時に話すと声が途切れます。
- プレストーク通話とは、送話と受話を手動で切り替える通話方式です。自分や相手の周囲が騒がしいときでも声が伝わりやすくなります。
- 「はーい」などの音声で応答する機能はありません。

## ドアホン側の様子を見る(モニター)



ドアホン側(玄関)の様子を映像と音で確認できます。

- モニター中、室内の声はドアホン側には聞こえません。

「ドアホン電池セーブ」の設定を「セーブ2」に変更している場合、この機能は使えません。(初期値は「セーブ1」、詳細はP.23)

### 1 を押す

- 「接続中」の表示後、モニター画面になり、ドアホン側の音声がかかります。



- モニター画面は約3分で自動的に終了します。途中で終了するには、 を押してください。

## お知らせ

- お買い上げ時は、「ドアホン電池セーブ」の設定により映像表示までに時間がかかります。(設定を「標準」に変更すると、映像表示までの時間は早くなりますが、電池の寿命は短くなります)
- モニター中にドアホン側の相手と話すことはできません。  
(相手と話すには)
  - ①  を押し、モニターを終了する
  - ②再度  を押す  
(通話画面になり相手と話ができます)

## 録画する (自動録画/手動録画)

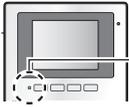
来客などの映像を最大100件まで、自動または手動で録画できます。

(録音機能はありません)

- 1件につき、静止画3枚(約0.5秒おきの3連続画像)を録画し、録画中は画面上部に「●録画」と表示します。

## 自動録画について

来客から呼び出しがあると、映像表示から約2秒後に相手の映像を自動で録画します。



留守中の録画(来客)は  
新着ランプでお知らせ

応答しなかったときの録画は未確認画像として記録され、新着ランプの点灯で通知されます。

-  を押して録画を再生すると、ランプが消灯します。(録画再生の詳細は P.19)
- 新着ランプを点灯させたくないときは、各種設定の「録画再生の設定」→「新着ランプ点灯」設定を「しない」にしてください。(P.23)

## 手動録画について

着信中(自動録画終了後)、モニター中、通話中は、下記の操作で録画ができます。

### 1 表示映像を録画したいときに

 を押す

## 録画がいっぱいになったとき (録画の自動更新)

新しい画像を録画するため、古い画像から順に自動で消去されます。(手動で画像消去しなくても、録画できます)

ただし、未確認の画像も消去されるため、消したくない画像は保護設定してください。

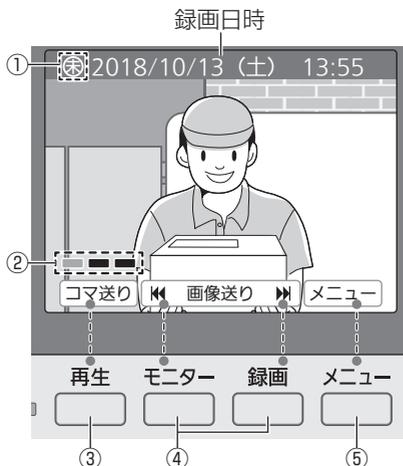
(P.19)

# 録画を再生する

新着ランプが点灯しているときは、新しく録画された未確認画像があります。

## 1 を押す

- 点灯していた新着ランプは消灯し、録画した画像が表示されます。



番号	意味/はたらき
①	画像の状態 <b>未</b> 未確認画像 (右上「お知らせ」) <b>ON</b> 保護設定した画像
②	コマ送りの再生状況 (表示例は、3コマ中の1コマ目を再生)
③	表示画像をコマ送りする
④	前/次の画像に切り替える ● 押し続けると、早送り/早戻しになります。
⑤	再生メニューを表示する (右記)

## 2 上記を参照のうえ、画像を再生する

## 3 終わったら、 を押す

## お知らせ

- **未** (未確認画像) は留守などで応答しなかったときに自動録画された画像にのみ表示され、再生すると消えます。
- 再生時に最初に表示する画像は…  
 新着ランプ点灯時は未確認の最新画像、  
 新着ランプ消灯時は全画像中の最新画像になります。

## 再生メニューについて (ガイドOFF、画像の保護/消去)

再生中の  で表示される再生メニューでは次の操作ができます。



項目選択は、次のように操作します。  
 [▼] () で選び、[決定] () を押す

### A ガイドOFF (またはガイドON)

画像に重なるガイド (録画日時やボタンガイド) を消して、映像のみを表示します。  
 ● 「ガイドOFF」後の再生メニューでは「ガイドON」に変わり、ガイドを再表示することができます。

### B 1件消去

表示中の画像を消去します。消去の際は、確認画面で「はい」を選んでください。  
 ● 全画像を一度に消去したいときは (P.23「画像全消去」)

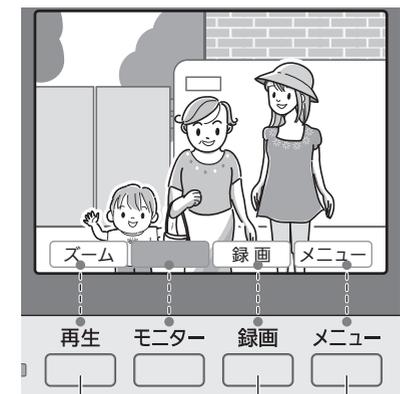
### C 保護設定/解除

表示中の画像を保護設定したり、保護設定を解除します。  
 ● 保護設定は最大20件です。

## 映像表示中の便利な機能

画面下にボタンガイドで表示される機能の操作ができます。

〈通話中の例：ワイド表示中〉



ワイド/ズームの切り替え  
(右上)

手動録画  
(P.18)

逆光補正など、各種  
メニューの操作(P.21)

## 表示中の映像をワイド/ズーム、パン・チルトする

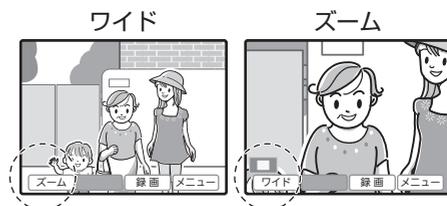
表示中の映像について、一時的にワイド/ズームを切り替えたり、ズーム位置を切り替えたり(パン・チルト)することができます。

### お知らせ

- この操作で変更した内容は、画面を終了すると破棄され、次に映像を表示する際は、「ワイド/ズーム設定」や「ズーム位置設定」に従って表示します。(P.14、15)

## ワイド/ズームの切り替え

映像表示中は、再生  を押すごとにワイド/ズームが切り替わります。



- ワイドの見え方には「ワイド1(初期値)」と「ワイド2」があり、変更することができます。(P.21のA)
- ズーム表示中は、画面左下のズーム位置ガイド(  )で現在のズーム位置が表示されます。

## ズーム位置の切り替え(パン・チルト)

ズーム映像の表示位置を切り替えることができます。

- 1 ズーム表示中に  を押す
  - 「パン・チルト(する/しない)」のメニュー項目が表示されます。
- 2 [する] (  ) を押す
  - パン・チルトの操作画面になります。



ズーム位置ガイド

- 3 [◀] (  ) または [▶] (  ) で、ズーム位置を切り替える
  - 押すごとに位置が切り替わり、ズーム位置ガイドで現在の位置を表示します。
  - パン・チルト操作が終わったら、[戻る] (  ) を押します。

## 映像表示中のメニューの機能

次の**A**～**H**の機能を操作できます。

### **A**ワイドの見え方(ワイド1/ワイド2)

ワイド表示中のみ表示され、ワイド映像の見え方(ワイド1/ワイド2)を切り替えることができます。

撮影される映像(16:9)



ワイド1(初期値)



両端(斜線部)を  
カットして表示

ワイド2



画面の横幅にあわ  
せて縮小表示

- 設定内容は画面を終了しても保持されます。(次にワイド映像を表示すると、設定した見え方で表示します)
- 「ワイド2」は人物などが細長に映ります。

### **B**パン・チルト(する/しない)

ズーム表示中のみ表示され、ズーム映像の表示位置を変えたいときに「する」を選びます。(詳細はP.20)

### **C**ガイド表示(OFF/ON)

映像に重なる表示(ボタンガイドなど)を消して、映像のみを表示したいときに「OFF」を選びます。

- 画面終了後に再度映像を表示すると、ガイド表示は「ON」になります。
- 「OFF」中にガイドを再表示するには「ON」を選びます。

### **D**明るさ(5段階)

映像の明るさを5段階で変更できます。

### **E**照明(OFF/ON)

ドアホンの照明(LEDライト)を点灯させたいときに「ON」を選びます。

- 画面終了時に消灯しますが、途中で消したいときは「OFF」を選んでください。

### **F**逆光補正(-/OFF/+)

被写体の顔が暗く映るときは「+」、明るく映りすぎるときは「-」を選びます。

### **G**受話音量(3段階)

通話やモニター中に室内側に聞こえる音量を変更できます。

### **H**送話音量(3段階)

通話中にドアホン側(玄関)に聞こえる音量を変更できます。

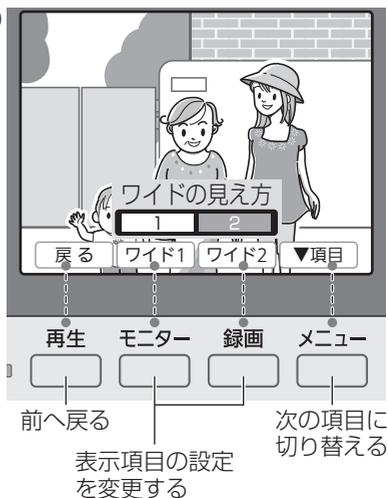
- **G**と**H**は、通話中・モニター中のみ表示されます。

## メニューの操作のしかた

### 1 映像表示中に を押す

- 操作できるメニューの最初の項目が表示されます。

(例)



- ### 2 [▼項目] () を押して操作する項目を選び、 や で設定を変更する

## 呼出音(音量・種類など)の変更

モニター機の呼出音量や呼出音の種類を、次の中から選んで変更できます。

呼出音量	大/中/小/切
呼出音	<音の種類> 音1(ピーンポーン) 音2(ピーンポーンピーンポーン) 音3(ポーンポーンポーン) <鳴りかた> 押すたび/繰り返し(5秒ごと)

1  を押す

2 「各種設定」を選び、「呼出音の設定」を選ぶ

項目選択は、次のように操作します。  
[▼] () で選び、[決定] () を押す

3 次の操作をする

■ 音量を変えるとき

① 「呼出音量」を選ぶ

② 音量を選ぶ

- 「切」に設定するとき、確認画面で「はい」を選んでください。

■ 音の種類などを変えるとき

① 「呼出音」を選ぶ

② 音の種類を選び、鳴りかたを選ぶ

4 終わったら、 を押す

## 各種設定の一覧と変更方法

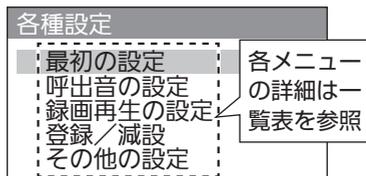
モニター機の各種設定を変更できます。

1  を押す

2 「各種設定」を選ぶ

項目選択は、次のように操作します。  
[▼] () で選び、[決定] () を押す

- 設定メニューが表示されます。



3 メニューを選び、設定項目を選ぶ

4 設定内容を変更する

- 設定時に確認画面が表示される場合もあります。表示に従って操作してください。
- 設定画面を終了するには、 を押してください。

### ■ 各種設定一覧

#### 最初の設定

[ ] は初期値です

#### 日時設定(★)

[2018年1月1日0時00分]

日時がずれたときなどに変更します。  
変更するには、P.14「日時(時計)の設定」の手順2～3を行ってください。

#### ワイド/ズーム設定

[来客時:ワイド、モニター時:ワイド]

来客時やモニター時に画面に映し出す映像を、それぞれワイド/ズームのどちらで表示するかを設定します。(詳細はP.14)

<b>ズーム位置設定</b>	<b>【ワイド映像の中央】</b>
映像をズームで表示するとき、最初に表示する位置を設定します。(詳細はP.15)	
<b>呼出音の設定</b>	<b>【 】は初期値です</b>
<b>呼出音量</b>	<b>【大】</b>
ドアホンから呼ばれたときの呼出音量を設定します。(詳細はP.22)	
<b>呼出音</b>	<b>【音1(ピーンポン)、押すたび】</b>
ドアホンから呼ばれたときの呼出音の種類と鳴りかたを設定します。(詳細はP.22)	
<b>録画再生の設定</b>	<b>【 】は初期値です</b>
<b>新着ランプ点灯</b>	<b>【する】</b>
新しく録画した未確認画像があっても、新着ランプを点灯させたくないときは、「しない」を選びます。	
<b>画像全消去</b>	
「すべての画像を消去」するか、「保護画像を残して消去」するかを選べます。	
<b>登録/減設</b>	
<b>登録</b>	
次の機器を登録するときに使います。	
● 中継アンテナ(★)(詳細はP.27)	
● ホームユニット(詳細はP.28)	
● ドアホン(★)* (詳細はP.43「U35」)	
※付属のドアホンは登録済みです。減設後など再登録が必要なときに選びます。	
<b>減設</b>	
使わなくなった機器などを減設するときに使います。(詳細はP.32)	
● 中継アンテナ(★)	
● ホームユニット	
● ドアホン(★)	

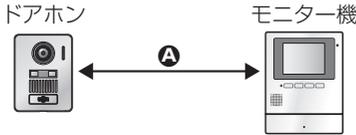
<b>その他の設定</b>	<b>【 】は初期値です</b>
<b>ドアホン電池セーブ</b>	<b>【セーブ1】</b>
次の3つから選んで設定します。	
● 標準	
● セーブ1 「標準」より電池寿命は長くなりますが、モニター表示までに時間がかかります。	
● セーブ2 来客応答専用 「セーブ1」より電池寿命は長くなりますが、モニター機からのモニター・通話はできません。また、次の場合、表示される画面の指示に従い、お客様自身で玄関先のドアホンの呼出ボタンを3分以内に押す必要があります。	
・電波レベルや電池残量の確認画面で、情報を更新するとき(P.24)	
・各種設定の中で、ドアホンとの通信が必要な設定(「ズーム位置設定」など)を行うとき	
<b>ドアホン照明自動点灯</b>	<b>【来客時:する、モニター時:する】</b>
夜間などドアホン側が暗いときに、照明(LEDライト)を自動点灯「する」/「しない」を設定します。来客時とモニター時のそれぞれで設定できます。	
<b>初期化</b>	
次のいずれかを選んで設定します。	
〈テレビドアホンのみでご利用時〉	
● 設定を元に戻す	
● 出荷時に戻す	
〈ホームネットワークシステムでご利用時〉	
● 設定を元に戻す	
● 画像全消去	
<b>展示モード(販売店専用)</b>	
店頭販売時の展示用などに使うモードです。通常は使わないでください。	

### お知らせ

- ホームネットワークシステムとしてご利用の場合、(★)の付いた設定はグレー表示となり設定できません。

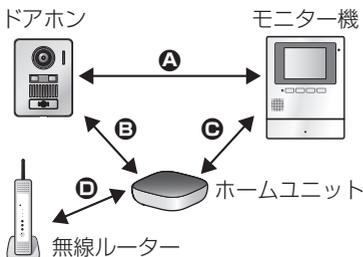
# 電波レベルや電池残量を 確認する

テレビドアホンのみでご利用のとき  
(ホームユニット接続なし)



Ⓐの電波レベルとドアホンの電池残量を、モニター機で確認できます。

ホームネットワークシステムとして  
ご利用のとき



ⒶⒸの電波レベルとドアホンの電池残量はモニター機で、ⒷⒸⒹの電波レベルは、スマートフォン(「ホームネットワーク」アプリ)で確認できます。

## ⒶⒸの電波レベルやドアホンの電池残量をモニター機で確認する

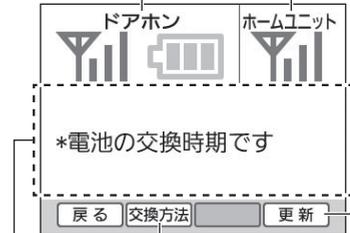
1 を押す

2 「アンテナ・電池」を選び、[決定]  
()を押す

- 右上のアンテナ・電池の情報画面が表示されます。状態を確認して、必要に応じた処置をしてください。
- 画面を終了するには、**「通話/終了」**を押してください。

## 〈アンテナ・電池の情報画面〉

ドアホンの電波レベルと電池残量      ホームユニットの電波レベル



状態に応じて  
変わります。

電池の交換時期にのみ表示され、  
選択すると交換方法の案内画面  
を表示します。

最新情報に更新します。電波レベルの安定確認のため、何度か更新操作を行い、電波状態を確認いただくことをお勧めします。

- 「ドアホン電池セーブ」の設定が「セーブ2」の場合(P.23)、更新操作時に表示される画面の指示に従い、ドアホンの呼出ボタンを3分以内に押す必要があります。

## お知らせ

- 電池の交換などの処置を行った場合は、再度上記画面を表示して最新情報を確認されることをお勧めします。
- ドアホンに電池を入れたあとの電池残量表示が になるときは、ドアホンの呼出ボタンを押してモニター機に映像を表示させてください。そのあとで上記画面を表示すると、正しい残量表示になります。
- ドアホンに、市販の充電式ニッケル水素電池をお使いになる場合
  - ・使っていないときも自然放電によって残量が減っていきます。できるだけ使用する直前に充電してください。
  - ・新品の電池でも、上記の放電状態によっては、取り付け直後に (残量レベル2) の表示になることがあります。
- ホームネットワークシステムとしてご利用の場合は、ドアホンの電池残量をスマートフォン(「ホームネットワーク」アプリ)で確認することもできます。操作方法などは、「ホームネットワーク」アプリの取扱説明書にアクセスしてご確認ください。(P.31)

## 電波レベルの見かた



### 〈電波が弱いまたは圏外のとき〉

- ドアホンの場合  
モニター機とドアホン間を近づけてください。テレビドアホンのみでご使用の場合は、中継アンテナを設置すると改善できる場合があります。(P.27)
- ホームユニットの場合  
電波の強い場所(モニター機の近く)にホームユニットを移動させてください。

## 電池残量の見かた



- レベル1になると通信が不安定になる場合があります。電池切れになる前に電池を交換してください。(P.26)
- ドアホンやホームユニットの電波レベル(上記)が圏外のときはドアホンの電池残量が確認できないため、表示になります。



## 電波レベルをスマートフォンで確認する

ホームユニットと各接続機器との電波レベルを確認できます。

- 1 「ホームネットワーク」アプリのホーム画面で[設定]をタップする
- 2 目的に応じて、下記の操作をする

### 無線ルーターとの電波の場合

[ネットワークの設定] → [ホームユニットのWi-Fi電波レベルを確認]をタップする

- ホームユニット側で「ピッ ピッ…」と鳴り、この間にホームユニットのランプ表示で電波レベルを確認できます。

緑点灯	電波レベル「強」
オレンジ点灯	電波レベル「中」
赤点灯	電波レベル「弱」
赤点滅(遅い)	「圏外」

### ドアホンやモニター機との電波の場合※1

- ① [接続機器の登録・減設/電波確認] → [電波レベルの確認]をタップする
  - ② 一覧から確認したい機器の種類(ドアホン、モニター機など)をタップし、機器名をタップする※2
- 選んだ機器の電波レベルと表示の説明などが表示されます。



- ※1 カメラなど、その他の接続機器の電波レベルもこの操作で確認できます。
- ※2 「ドアホン電池セーブ」の設定が「セーブ2」の場合(P.23)、ドアホンの電波レベル確認時に表示される画面の指示に従い、ドアホンの呼出ボタンを3分以内に押す必要があります。

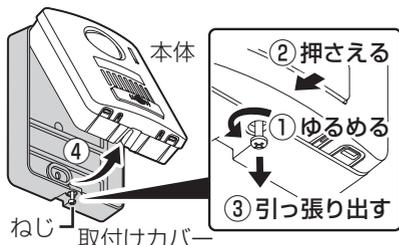
# ドアホンの電池を交換する



お願い

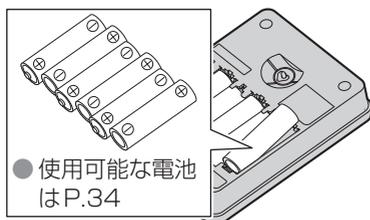
- 取り付け後は、ドアホンの呼出ボタンを押して動作を確認してください。

## 1 取付けカバーから本体を外す



- ① ドライバーでねじをゆるめる
- ② 本体を取付けカバーに押し付けたまま
- ③ ねじ頭をつまんで引っ張り出す
- ④ 本体(底面部)を図のように持ち上げて取付けカバーから外す

## 2 すべての電池(6本)を、新品の単3形電池と交換する



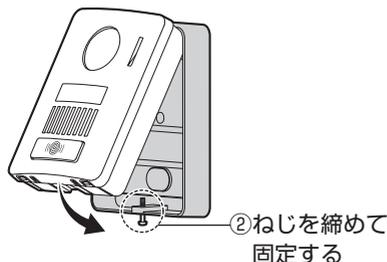
- 使用可能な電池はP.34

### 電池の液もれ防止のためのお願い

- 指定以外の電池を使用しない
- 新旧・異種の電池を混用しない
- ⊕ ⊖ の向きを間違えない
- 乾電池は使用推奨期限(乾電池に記載)を確認して使う

## 3 本体を取付けカバーに取り付ける

- ① 図のように、先に本体の天面部を取付けカバーに入れて底面部を押し込む



- ② ねじを締めて固定する

## 使用済みの電池を捨てるとき

### 乾電池(アルカリ/リチウム)の場合

- 「燃えないゴミ」として、地域条例に従って処理してください。
- 端子を絶縁するためにテープを貼ってください。(ショートによる液もれ・発熱・破裂の防止)

### 充電式ニッケル水素電池の場合

古いニッケル水素電池はリサイクルに…



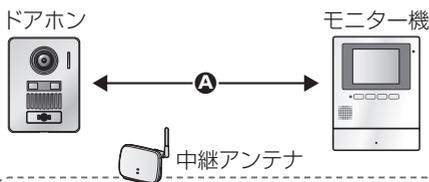
Ni-MH

- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
  - 交換後不要になったニッケル水素電池、および使用済製品から取り外したニッケル水素電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
  - リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
    - 製品、ニッケル水素電池をご購入いただいた販売店
    - 一般社団法人JBRCおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局
- 一般社団法人JBRCのホームページ  
<http://www.jbrc.com>
- リサイクル時のお願い
    - ニッケル水素電池はショートしないようにしてください。(火災・感電の原因)
    - 外装カバー(被覆・チューブなど)をはがさないでください。
    - ニッケル水素電池を分解しないでください。

## 中継アンテナを使用する

接続する機器間の電波が不安定、または「圏外」の場合、中継アンテナを使うと改善できることがあります。設置や使用については、中継アンテナの取扱説明書もよくお読みください。

### テレビドアホンのみでご使用のとき(ホームユニット接続なし)



上記A間に1台のみ設置できます。モニター機に登録後、ドアホンとの間に設置します。

### モニター機への登録方法

#### モニター機への登録方法

1 **メニュー** を押す

2 「各種設定」を選び→「登録/減設」を選び→「登録」を選び→「中継アンテナ」を選ぶ

項目選択は、次のように操作します。  
[▼] (モニター) で選び、[決定] (メニュー) を押す

- 中継アンテナの操作を促す表示が出ます。約2分以内に中継アンテナの操作をしてください。

#### 中継アンテナの操作

3 電源を入れ、登録ボタンを約3秒間押す

- 電波レベル/登録ランプが緑点減したら登録中です。完了すると点灯します。

#### モニター機への登録方法

4 登録完了画面が出たら、

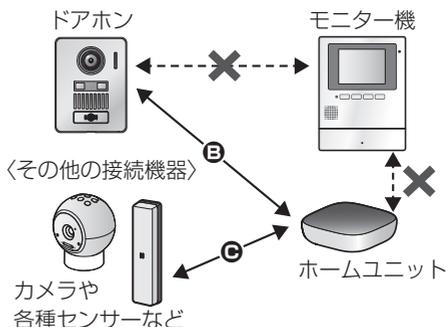
**通話/終了** を押す

#### お知らせ

- テレビドアホンを別売のホームユニットと接続してホームネットワークシステムとしてご使用になる場合、左のA間に設置・使用していた中継アンテナは、使用できなくなります。

### ホームネットワークシステムとしてご使用のとき

中継アンテナは下記BまたはCの区間にのみ設置できます。



#### 中継アンテナ

設置はシステム内で最大2台まで。

- 1台で複数の機器を中継できますが、ドアホンとモニター機間、モニター機とホームユニット間には中継できません。
- モニター機でドアホン映像が乱れる場合、Bの区間に中継アンテナを設置すると改善できることがあります。
- ホームユニットから遠距離にある機器は、中継アンテナ2台を連結して中継することもできます。

ホームユニットに登録後、中継したい機器とホームユニットの間に設置します。

### ホームユニットへの登録方法

P.30「ホームユニットにカメラなど様々な機器を登録する」をお読みください。

## システムを拡張する

### テレビドアホン(VL-SGZ30)をホームユニットと接続する

別売のホームユニット(KX-HJB1000)と接続して、ホームネットワークシステムとして使うことができます。

#### ご利用までの操作の流れ

ホームユニット・無線ルーター・スマートフォンで、接続設定をする(初期設定)

- 操作方法は、ご使用のホームユニットの説明書を参照

ホームユニットのソフトウェアや「ホームネットワーク」アプリのバージョンを最新に更新する

- バージョンが古いと、本製品をホームユニットに登録できない場合や正常に動作しない場合があります。

#### 〈ホームユニットの更新方法〉

初期設定の完了から約10分以上経過後、アプリのホーム画面から[設定]→[その他の設定]→[ソフトウェアの更新]の順にタップし、画面に新しいバージョンがある旨の表示が出たら、表示に従って操作・更新してください。

#### 〈アプリの更新方法〉

スマートフォンにアップデートのお知らせがあったら、画面の表示に従って最新にしてください。

モニター機からドアホンを減設する

- 本製品をホームユニットに登録するために必要な操作です。P.32「モニター機からの減設方法」を参照のうえ、ドアホンを減設してください。

減設したドアホン、モニター機を、それぞれホームユニットに登録する(右記)

### 減設したドアホンをホームユニットに登録するとき

ドアホン本体を取付けカバーから外してホームユニットの近くに持って行き、電池を抜いてから操作を始めてください。(本体の外しかたはP.26)

#### ホームユニットの操作

- 1 側面の登録ボタン【】Bを約3秒間押す
  - 天面のランプが緑点滅したら、ドアホンの操作をしてください。



#### ドアホンの操作

- 2 電池を入れ、約3分以内に表面の呼出ボタンを約5秒間押す
  - LEDライトが点滅したら、登録中です。完了するとホームユニットが「ピーッ」と鳴ります。
  - 登録完了後は、ドアホンを元のように設置してください。

### モニター機をホームユニットに登録するとき

#### ホームユニットの操作

- 1 側面の登録ボタン【】Bを約3秒間押す
  - 天面のランプが緑点滅したら、モニター機の操作をしてください。



#### モニター機の操作

- 2  を押す
- 3 「各種設定」を選び→「登録/減設」を選び→「登録」を選び→「ホームユニット」を選ぶ

項目選択は、次のように操作します。  
[▼] () で選び、[決定] () を押す

- 「登録中」となり、完了するとモニター機とホームユニットが「ピーッ」と鳴ります。
- 画面を終了するには  を押してください。



## お知らせ

- 登録に失敗すると、ホームユニットは「ピピピピッ」と鳴ります。登録操作をやり直してください。(ドアホンの場合はすべての電池を抜いてからやり直す)
- ホームユニットにはカメラや各種センサーなどの機器も登録できます。詳しくはP.30およびご使用のホームユニットの説明書をお読みください。
- システムを拡張しても、モニター機で操作できるのはドアホンのみです。カメラや各種センサーはスマートフォンでのみ操作できます。

## ホームユニットにスマートフォンを追加登録する

最大8台まで登録できます。

### 事前に次のことを確認してください

- ホームユニット・無線ルーター・スマートフォン(1台目)の接続設定(初期設定)が完了している
- ホームユニットと無線ルーターの電源が入っている(ホームユニットのランプが赤または緑点灯していること)
- 登録するスマートフォンが、
  - ・インターネットに接続できる
  - ・ホームユニットに登録した無線ルーター(2.4 GHz帯域のSSID)にWi-Fi®接続されている

## 登録のしかた

操作は、登録するスマートフォンとホームユニットで行います。



### スマートフォンの操作

- 1 「ホームネットワーク」アプリをインストールしてアプリを起動し、[スタート]をタップする
  - 使用許諾が表示されたときは、よくお読みのうえ、[同意する]をタップしてください。

- 2 [現在接続されているネットワーク名(SSID)]に2.4 GHz帯域のネットワーク名(SSID)が表示されていることを確認し、[次へ]をタップする
- 3 ホームユニットのランプが赤または緑点灯であることを確認してから、[次へ]をタップする
- 4 [このスマホ/タブレットを追加]をタップする
  - 画面表示に従い、[スマホ/タブレットとホームユニットを接続します。]の表示が出たら、ホームユニットの操作を行います。



### ホームユニットの操作

- 5 側面の【Wi-Fi設定】ボタンを押す



### スマートフォンの操作

- 6 ログインパスワード入力のご案内画面が出たら、[OK]をタップする
- 7 画面表示に従って、ホームユニットのログインパスワード(1台目のスマートフォンの初期設定時に作成)を入力し、[OK]をタップする
- 8 画面表示に従って、スマートフォンの名前を入力し、[OK]をタップする
  - 名前は10文字まで入力できます。
- 9 [設定が完了しました。]の表示が出たら、[OK]をタップする
  - 別売のカメラなどのセンサー反応時の動作の案内に関するお知らせが表示されます。確認して[OK]をタップすると、アプリのホーム画面が表示されます。

## ホームユニットにカメラなど 様々な機器を登録する

ホームユニットには、別売のカメラや各種センサーなどの接続機器や中継アンテナを登録できます。(対応機器はP.33)

- システムを拡張しても、モニター機で操作できるのはドアホンのみです。カメラや各種センサーはスマートフォンでのみ操作できます。
- 登録操作には、ホームユニットを使って登録する方法と、スマートフォン(「ホームネットワーク」アプリ)を使って登録する方法があります。
- 開閉センサーを登録するときは、開閉センサーの本体カバーと電池カバーを外して電池を抜いた状態から登録操作を始めてください。

### ホームユニットを使って 各機器を登録する

操作は、ホームユニットと登録する機器で行います。

### ホームユニットの操作

#### 1 側面にある登録ボタンを、登録する機器に応じて長押しする

中継アンテナを登録するとき
【 <b>ⓐ</b> 】A を約3秒間押す(連結する2台目の場合のみ約6秒間押す)
カメラを登録するとき
【 <b>ⓑ</b> 】B を約3秒間押す
各種センサー、チャイムなどを登録するとき
【 <b>ⓒ</b> 】C を約3秒間押す

- 天面のランプが緑点滅(中継アンテナ連結の2台目の場合は黄点滅)したら、登録する機器の操作をしてください。(右上)



## 登録する機器の操作

#### 2 登録操作をする

中継アンテナ、カメラ、チャイム、各種センサーの場合(開閉センサー除く)

各機器の説明書を参照のうえ、登録ボタン※を約3秒間押す

※登録ボタンは機器によって異なります。

- 完了するとホームユニットが「ピーッ」と鳴ります。

#### 開閉センサーの場合

- ①モード切替スイッチを「モード1」側に合わせる
- ②電池を入れ、「ピッ」と鳴ってから2分以内に登録ボタンを約3秒間押す

- 「ピッピッピッ…」と鳴ったら登録中です。完了すると開閉センサーとホームユニットが「ピーッ」と鳴ります。



#### お知らせ

- 登録に失敗すると、ホームユニットは「ピピピピッ」と鳴ります。登録操作をやり直してください。

## スマートフォンを使って 各機器を登録する

操作は、スマートフォンと登録する機器で行います。



### スマートフォンの操作

- 1 「ホームネットワーク」アプリを起動し、[設定] → [接続機器の登録・減設/電波確認] → [登録] をタップする
- 2 登録する機器のアイコンをタップする
  - 中継アンテナの2台目を登録する場合は続けて[単独で接続する]か[連結で接続する]かの選択画面が表示されます。目的に応じて選択してください。
  - 選んだ機器に応じて操作の案内画面が表示されます。



### 登録する機器の操作

- 3 P.30の手順2の操作を行う



### お知らせ

- 登録に失敗すると、ホームユニットは「ピピピピッ」と鳴ります。登録操作をやり直してください。

## アプリの取扱説明書 (電子版)の確認方法

「ホームネットワーク」アプリを使った機能の説明や操作方法は、アプリの取扱説明書(電子版)に記載しています。下記の方法で確認してください。

スマートフォンにインストールしたアプリを使って確認する

- ①アプリを起動する
- ②ホーム画面でメニューボタンをタップし、[取扱説明書]をタップする



- 表示された取扱説明書で読みたい項目をタップすると、説明が表示されます。

パソコンなどを使ってサポートサイトにアクセスして確認する

下記のサポートサイトにアクセスする

<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/com/hns/smp/manual/>



- 表示された取扱説明書で読みたい項目を選ぶと、説明が表示されます。



### お知らせ

- 取扱説明書を正しく表示するための推奨環境は次のとおりです。  
〈スマートフォンで表示するとき〉
  - iOS 7.0以降
  - Android 4.1以降※対応するバージョンは、スマートフォンのOSのバージョン更新に伴って変わる場合があります。  
〈パソコンで表示するとき〉
  - Microsoft Windows Internet Explorer 9以降
  - Firefox®(最新バージョン)
  - Google™ Chrome(最新バージョン)
  - Safari 4.1以降

## 機器の減設・連携解除

### テレビドアホンのみでご使用のとき(ホームユニット接続なし)

使わなくなったドアホンや中継アンテナは、モニター機から減設してください。

#### モニター機からの減設方法

- 1  を押す
- 2 「各種設定」を選び→「登録/減設」を選び→「減設」を選び→減設したい機器を選ぶ

項目選択は、次のように操作します。  
[▼] () で選び、[決定] () を押す

- 3 確認画面が出たら「はい」を選ぶ
  - 減設完了後、画面を終了するには  を押してください。

### ホームネットワークシステムとしてご使用のとき

使わなくなった機器は、ホームユニットから減設してください。

#### ホームユニットからの減設方法

操作はスマートフォン(「ホームネットワーク」アプリ)を使って行います。



#### スマートフォンの操作

- 1 「ホームネットワーク」アプリを起動し、[設定]→[接続機器の登録・減設/電波確認]→[減設]をタップする
- 2 減設する機器の種類をタップする
  - 登録されている機器が表示されます。
- 3 減設する機器名をタップし、確認画面が出たら[OK]をタップする
  - 連結接続した中継アンテナを減設するときは、アプリ画面の表示に従ってホームユニットから「遠い方」の機器から減設してください。

#### ホームユニットとモニター機の連携(接続)を解除したいとき

下記の操作が必要です。

- 1 ホームユニットからモニター機を減設する
  - 操作方法は上記「ホームユニットからの減設方法」を参照してください。
- 2 モニター機からホームユニットを減設する
  - 操作方法は左上「モニター機からの減設方法」を参照してください。

## 別売品・連携機器一覧

記載の情報は2018年2月現在のものです。  
内容は追加・変更になる場合があります。

### ホームネットワークシステムの 接続対応機器

最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。  
動作確認済みの無線ルーターやスマートフォンも確認できます。

[http://www.panasonic.com/jp/  
support/consumer/com/door/](http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/com/door/)

#### 無線ルーター(市販品)



グローバルIPアドレス(IPv4)が  
付与されているインターネットと  
UPnPに対応したもの

#### スマートフォン(市販品)

最大8台



〈iPhone、iPad〉  
iOS 7.0以降  
(iPhone4以降、iPad)  
〈Android™スマートフォン〉  
Android 4.1以降

対応するバージョンは、スマートフォンの  
OSのバージョン更新に伴って変わる場合  
があります。

#### カメラ(パナソニック製)

最大4台



〈屋外用〉  
VL-WD813/WD712  
KX-HJC100/HC300S



〈屋内用〉  
KX-HJC200/HC500/HC600

#### 各種センサー・チャイムなど (パナソニック製)

最大50台



〈開閉センサー〉  
KX-HJS100/HJS100W

〈人感センサー〉  
KX-HJS200

〈センサーライト〉

KX-HA100S



〈お知らせチャイム〉  
KX-HA200

### お知らせ

- カメラや各種センサーなどは、ホームユニットに登録し、スマートフォン(「ホームネットワーク」アプリ)で操作します。
- ご使用のスマートフォンの種類、接続している周辺機器、インストールしているアプリケーションなど、ご使用の環境によっては、本システムが正常に動作しないことがあります。

### 別売品

価格、ご注文については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

中継アンテナ	KX-FKD3
ホームユニット	KX-HJB1000
(ホームユニット用) 壁掛け用木ねじ・ ワッシャー	KX-AN162 (お買い上げの販売店にてお取り寄せとなります)

別売品は販売店でお買い求めいただけます。パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニックストア」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナソニックストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループの  
ショッピングサイト



Panasonic Store

# 仕様

## ドアホン(ワイヤレス玄関子機)

電源	単3形電池6本(使用可能な電池は右記参照)
電池寿命	最大24か月※1
外形寸法(mm)(高さ×幅×奥行)	約131×99×37.2(突起部除く)
質量	約245g(電池含まず)
使用環境条件	周囲温度: -10℃~+50℃ 湿度:90%以下
最大画角	水平:約100° 垂直:約53°
取付方法	付属の取付けカバーを使用
無線通信方式	1.9GHz TDMA-WB
出力映像	H.264 最大10fps(320×240) (中継アンテナ利用時は最大6fps) ●H.264とは、少ないデータ量で動画を伝送するための動画圧縮方式です。
最低被写体照度	1ルクス (カメラから約50cm以内)
照明方法	LEDライト(照明用ランプ)
防塵・防水性	IP44※2

## 使用可能な電池(単3形電池)

### 推奨電池(パナソニック製)

- エネループ ハイエンドモデル
- 充電式エボルタ ハイエンドモデル

その他の充電式ニッケル水素電池、アルカリ乾電池、リチウム乾電池もお使いいただけますが、次の点にご注意ください。

### 〈アルカリ乾電池の場合〉

- 液もれによる機器の故障防止のため、
  - 気温の高いところでは極力使わない(電池の保証温度・湿度の範囲内で使う)
  - 消耗した電池は速やかに交換する
  - 次のような電池の混用はしない(新旧・異種・使用推奨期間が異なる電池)
- 気温が低くなると、電池寿命が短くなることがあります。

### 〈リチウム乾電池の場合〉

- 機器の破損防止のため、公称電圧1.5V以下のものをお使いください。

※1 推奨電池のエネループ ハイエンドモデルを満充電にして次の条件で使用したときの目安です。

- 「ドアホン電池セーブ」を「セーブ2」に設定(P.23)  
(「標準」に設定すると電池寿命は最大6か月。「セーブ1」に設定すると電池寿命は最大12か月)
- 「ドアホン照明自動点灯」を「しない」に設定(P.23)
- 周囲温度20℃で1日3回、1回につき約10秒間、室内のモニター機に映像を表示

※2 防塵性規格等級4:

直径1.0mm以上の固形物が侵入しないレベル

防水性規格等級4:

あらゆる方向からの飛まつによる水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

## モニター機

電源	AC 100 V (50 Hz/60 Hz)
消費電力	待機時: 約 1.5 W 動作時: 約 4 W
外形寸法 (mm) (高さ ×幅×奥行)	約 169 × 129 × 29 (突起部除く)
質量	約 395 g
使用環境 条件	周囲温度: 0 °C ~ + 40 °C 湿度 : 90 % 以下
画面表示	約 3.5 型 カラー液晶ディスプレイ
通話方式	音声交互自動切替方式
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
使用可能 距離	(ドアホンとの見通し距離) 約 100 m (ホームユニットとの見通し距離) 約 70 m
取付方法	露出壁掛け (壁掛け金具付属)

## ホームユニット

電源	ACアダプター (極性統一形プラグ) AC100 V (50 Hz/60 Hz) (DC6.5 V) (1 A)
消費電力	待機時: 約 2.3 W 動作時: 約 2.6 W
外形寸法 (mm) (高さ ×幅×奥行)	約 42 × 130 × 130
質量	約 220 g

使用環境 条件	周囲温度: 0 °C ~ + 40 °C 湿度: 20 % ~ 80 %
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
使用可能 距離	(ドアホンとの見通し距離) 約 100 m (モニター機との見通し距離) 約 70 m
無線LAN	規格: IEEE802.11b/g/n準拠 伝送方式: OFDM方式、DSSS方式 周波数範囲: 2.4 GHz ~ 2.5 GHz チャンネル: 1 ~ 13ch データ転送速度(最大): IEEE802.11b: 11 Mbps IEEE802.11g: 54 Mbps IEEE802.11n: 72 Mbps

## ■ 対応の microSD カード

対応カード 種類	microSD メモリーカード: 64 MB ~ 2 GB microSDHC メモリーカード: 4 GB ~ 32 GB
フォーマット	microSD メモリーカード: FAT16 microSDHC メモリーカード: FAT32
記録方式	動画情報: MPEG4 • 動画部分: H.264 • 音声部分: AAC
最大記録容 量(ファイ ル数)	動画情報: 約 65,000 件 (全体ファイル容量が microSD カード容量を超 えない場合)

## 商標・著作権・ライセンス

### 商標など

- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- iPhone、iPad、Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Google、Android およびその他のマークは、Google Inc. の商標です。
- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標または商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- Microsoft、WindowsおよびInternet Explorer は、米国Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Firefox は、Mozilla Foundationの登録商標です。
- モニター機のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

### 著作権（ホームユニット）

ホームユニットには、フリーソフトウェア財団のGPL、LGPL、およびその他の条件に基づいたオープンソースソフトウェアを使用しています。関連する条件はこのソフトウェアに適用されます。本製品に表示されるGPLやLGPLのライセンス情報、オープンソースソフトウェアについての情報は、ホームページへ掲載しています。GPL、LGPLの条件のもとで認可されたソースコードは公開されています。これらのソフトウェアについては保証の範囲外となりますので、あらかじめご了承ください。製品販売後、少なくとも3年間、パナソニック株式会社はコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPLおよびその他のオープンソースソフトウェアの利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPLソフトウェアおよびその他のオープンソースソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコード、および著作権表示のリストを頒布します。上記記載内容へのお問い合わせや関連するソースコードの入手方法については、下記URLをご参照ください。

<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/com/hns/>

### ライセンス

本製品はAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i)画像情報をAVC規格に準拠して（以下、AVCビデオ）記録すること。
- (ii)個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。

詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

# 電波の通信方式について

## ドアホン・モニター機・ホームユニット間 (DECT 準拠方式の電波)

- 本製品は、1.9 GHz帯の周波数を使用します。

本製品には、1.9 GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す次のマークが表示されています。(一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠)

1.9-D

- J-DECTロゴは、DECT Forumの商標です。

J-DECTのロゴはARIB STD-T101に準拠した1.9 GHz帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。

## J-DECT

- 本製品の使用周波数に関わるご注意

本製品の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

1. 本製品は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本製品から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本製品の電源プラグやACアダプターを抜いて、裏表紙の「ファクス・電話機・ドアホンご相談窓口」にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
2. その他、何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「ファクス・電話機・ドアホンご相談窓口」へお問い合わせください。

## ホームユニットの無線LANの電波

- ホームユニットは、2.4~2.4835 GHzの全帯域を使用する無線設備です。移動体識別装置の帯域が回避可能で、変調方式は「DS-SS方式/OFDM方式」、与干渉距離は40 mです。

2.4 DS / OF4

(右記はそれを示すマークです)

- ホームユニットの使用周波数に関わるご注意

ホームユニットの使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. ホームユニットを使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、ホームユニットから移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、ホームユニットのACアダプターを抜いて、裏表紙の「ファクス・電話機・ドアホンご相談窓口」にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、ホームユニットから移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「ファクス・電話機・ドアホンご相談窓口」へお問い合わせください。

## セキュリティについて (スマートフォン連携時)



スマートフォン連携のホームネットワークシステムでは、ホームユニットとスマートフォンが、インターネットに接続した無線ルーターを経由して無線LANで通信します。無線LANでは、電波を利用してパソコンなどと情報のやり取りを行います。ご利用時の電波は、通信可能範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、注意が必要です。

### 〈無線LANの通信に関する注意事項〉

- 本書および接続する無線LAN機器の取扱説明書に従って、暗号化などの適切なセキュリティ設定を行ってください。
  - 無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあります。ご理解のうえ、ご使用ください。
- セキュリティに関する設定を行わないと、悪意のある第三者によって、次のような被害を受ける場合があります。
  - 通信内容(画像、メール情報、ID、パスワードなど)の傍受
  - ネットワークへの不正な侵入による情報漏洩
  - なりすましによる通信内容の改ざん
- セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

## スマートフォン利用時の セキュリティ対策について

セキュリティに関する適切な措置や対策をしないと、悪意のある第三者によって、次のような被害を受けることがあります。

- 本システムを経由した個人情報の流出
- 本システムの違法な使用
- 本システムの使用干渉および使用停止

### 〈必要な措置や対策について〉

- スマートフォンと無線ルーター間のWi-Fi通信は、暗号化してください。
- 機器が不正に操作されるのを防止するため、ログインパスワードは定期的に変更してください。
- 容易に推測可能なパスワードを設定すると、第三者にパスワードを見破られる恐れがあります。「パスワード」は推定が難しいものを設定していただき、その控えは漏れないように管理してください。
- スマートフォンを紛失した場合は
  - 紛失したスマートフォンをホームユニットから減設<sup>\*1</sup>してください。
  - 本システムと連携した別のスマートフォンがあるときは、スマートフォンでログインパスワードを変更してください。
- オートログイン機能<sup>\*1</sup>を有効にしたときには、スマートフォンの端末ロック機能を有効にしてください。
- セキュリティ上の重要な操作(MACアドレス、機器IDなどの利用者情報の削除など)を行う場合は注意して行ってください。
- スマートフォン内部の利用者情報漏えいを防止するために、端末ロック機能を有効にしてください。
- 修理時に設定情報を消去、変更される可能性があるため、重要なものは記録して保管しておいてください。
- 不要となったスマートフォンは、ホームユニットから減設<sup>\*1</sup>し、ホームネットワークアプリをアンインストールしてください。
- ホームユニットの電源が切断されたときは、ホームネットワークアプリの日付/時刻がずれることがあります。電源復帰後にホームユニットがルーター経由でインターネットに接続されると、日付/時刻が自動登録されます。

### 〈その他の留意事項〉

- 同じネットワーク内ではホームユニットは複数台使用できません。
- 宅外からホームユニットへ接続し、設定やカメラモニターなどを操作中に他のスマートフォンがホームユニットに接続した場合、後から接続したスマートフォンの動作が優先されるため、操作中の動作が中断されます。
- ネットワークの性質上、通信妨害が起こることがあります。
- 個人のプライバシーや肖像権を侵害する可能性がある場合は、利用者の責任で機器を使用してください。

---

※1 ホームユニットからのスマートフォンの減設方法やオートログイン機能については、「ホームネットワーク」アプリの取扱説明書（電子版）をお読みください。（アプリの取扱説明書の確認方法はP.31）

## 困ったとき

### ドアホン映像の画質

画面に表示した直後の映像の明るさや色味が実際と異なる

ドアホンの周囲環境に応じて映像を補正しますが、画面に表示した直後の映像は補正途中のため、明るさや色味が実際と異なる場合があります。

#### 人の顔が暗く映る

逆光になると、来客の顔が暗く映り、識別しにくくなります。

→ 逆光補正をしてください。(P.21)

#### 映像がはっきりしない(焦点が合わない)

ドアホンのレンズカバーが汚れている、または結露している可能性があります。

→ 汚れているときは、柔らかい乾いた布で拭いてください。

→ 寒暖の差が大きい季節に結露することがあります。(周囲の温度が常温に戻れば回復します)

→ ドアホンを取り付ける壁に大きな穴が開いている場合は、断熱材(発泡スチロールなど)を用いて、壁の穴を埋めるか、壁とドアホンの間に挟むと結露しにくくなります。

#### 映像が白っぽい、または白い線や輪が表示される

ドアホンのカメラレンズに太陽光などの強い光が当たると、見えにくくなる場合があります。(故障ではありません)

### ドアホンとモニター機の通信

モニター  
□ を押してから映像が表示されるまでに時間がかかる

電池の消費を抑えるため、お買い上げ時は「ドアホン電池セーブ」の設定が「セーブ1」になっています。(P.23)

この設定では、モニター □ を押してから映像表示までに時間がかかります。

(表示までの時間は一定ではありません)

→ 設定を「標準」に変更すると映像表示までの時間は早くなりますが、電池の寿命は短くなります。

#### 下記①または②の症状がある

- ① 映像が乱れる、映像の更新速度が遅い、通話が途切れる(ほとんど聞こえない)
- ② 着信しない(ドアホンからの呼び出しがモニター機に通知されない)

● ドアホンとモニター機間が離れすぎている、または間にコンクリート壁など電波を通しにくい障害物があると、電波が弱くなり正しく通信できません。

→ 電波の強い場所に移動させてください。(電波レベルの確認はP.24)

→ テレビドアホンのみでご利用の場合(ホームユニット接続なし)で設置場所を移動できないときは、別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります。(P.27)

→ ホームネットワークシステムとしてご利用の場合で設置場所を移動できないときは、ホームユニットとドアホン間に中継アンテナを設置すると改善できることがあります。(P.27)

● 上記処置後も②が改善されないとき

→ ドアホンの電池切れです。電池を交換してください。(P.26)

#### モニター機をドアホンに近づけても、モニター操作時に「電波圏外です」と表示される

● ドアホンの呼出ボタンを押してください。映像が表示されたら、表示終了後はモニターができるようになります。

● 上記処置後も改善されないとき

→ ドアホンの電池切れです。電池を交換してください。(P.26)

着信（ドアホンからの呼び出し）時、映像は表示されるのに呼出音が鳴らない

呼出音量の設定が「切」になっていないか確認してください。(P.22)

電波は良好なのに通話が途切れる、または、ほとんど聞こえない

自分や通話相手の周囲で大きい音（車や電車などが通る音、ペットの鳴き声、テレビの音、子供の泣き声など）がしていると、通話が途切れることがあります。

→プレトーク通話に切り替えると、話しやすくなります。(P.16)

電波は良好なのに映像の更新速度が遅い

中継アンテナを登録すると、未登録時に比べて映像の更新速度が約半分になります。(故障ではありません)

## ホームネットワークシステム関連 (スマートフォン連携)

### 無線LANに接続できない

- スマートフォンとホームユニットが同じ無線ルーターに接続されていますか？  
→ スマートフォンとホームユニットは同じ無線ルーターに接続してください。
- スマートフォンでWi-Fi機能が使えるように設定されていますか？  
→ スマートフォンの取扱説明書などをご確認ください。
- 無線ルーターは電源が入っていて、正しく動作していますか？  
→ 無線ルーターの取扱説明書をご確認ください。
- 無線ルーターのネットワーク情報（SSIDや暗号方式、セキュリティキーなど）を変更していませんか？  
→ ホームユニットとスマートフォンの無線LANの接続設定（初期設定）<sup>\*1</sup>をやり直してください。
- 無線ルーターのクライアント分離機能（同じ無線ルーターに接続されている機器どうしが、直接ネットワーク接続されるのを防ぐ機能）が有効になっていませんか？  
→ クライアント分離機能が有効のときは、ホームユニットとスマートフォンは接続できません。無線ルーターの取扱説明書をお読みになり、無効にしてください。
- 上記の処置をしても直らないときは、「ホームネットワーク」アプリでネットワーク設定の初期化が必要です。  
→ P.42「ホームユニットの初期化」を参照し、手順3で③[ネットワークの設定を初期化]を選んで初期化してください。  
→ 初期化後は、再度、ホームユニット・無線ルーター・スマートフォンの接続設定（初期設定）<sup>\*1</sup>をやり直してください。

## ホームユニットの設定を初期化したい

----- ホームユニットの初期化 -----

1. 「ホームネットワーク」アプリのホーム画面で、[設定] をタップする
2. [初期化] をタップする
3. 初期化方法 (①～③) を選択する
  - ① [すべての設定を初期化]  
Wi-Fi設定を含む、すべてのホームユニットの設定を初期化します。
  - ② [ホームユニットの設定を初期化]  
Wi-Fi設定を除く、すべてのホームユニットの設定を初期化します。
  - ③ [ネットワークの設定を初期化]  
Wi-Fi設定のみを初期化します。
4. 画面の表示に従って操作する
  - ①または②を選択した場合は、初期化の操作後にホームユニットの初期設定画面になります。初期設定\*<sup>1</sup>の操作をしてください。

※ 1 VL-SGZ30Kの場合は、「スマートフォン連携 接続設定ガイド」をお読みください。VL-SGZ30の場合は、ご使用のホームユニットの説明書をお読みください。

## その他

### モニター機の録画再生で、録画日時が表示されない

日時が設定されていません。または、停電などにより、設定した日時が消えています。

→ 日時を設定してください。(P.14)

### モニター機の動作がおかしい (正しく操作しても動かない)

モニター機の底面にあるリセットスイッチ (P.10) を先端の細いもので押してください。(モニター機に録画された画像、登録した設定内容などは消えません)

### モニター機やドアホンの設定内容を元 (お買い上げ時の状態) に戻したい

モニター機の各種設定で、「その他の設定」→「初期化」をしてください。(P.23)

## ドアホンの電池切れが早い

● 推奨以外の電池を使用した場合や使用環境条件によっては、電池寿命が極端に短くなることがあります。(推奨電池を一定条件で使用したときの目安は、P.34のドアホンの仕様欄を参照)

● 次の機器間の電波が圏外の場合、電池の消耗が早くなります。

### <テレビドアホンのみでご利用の場合>

- ドアホンとモニター機間が圏外  
→ 機器間を近づけるなど、電波の強い場所にドアホンまたはモニター機を移動させてください。  
(電波レベルの確認方法はP.24)  
移動できないときは、別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります。(P.27)

### <ホームネットワークシステムとしてご利用の場合>

- ドアホンとホームユニット間が圏外  
→ 機器間を近づけるなど、電波の強い場所にドアホンまたはホームユニットを移動させてください。  
(電波レベルの確認方法はP.24)  
移動できないときは、別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります。(P.27)

## CSデジタル放送 (特定チャンネル) の画像が乱れる

本製品\*<sup>2</sup>の電波がCSデジタル放送のアンテナ伝送路へ混入すると画像が乱れることがあります。

→ 下記のように、CS・BS対応の受信設備をお使いください。

- 混合器、分配器、分波器などの機器は、CS・BS対応のものを使う
- 接続ケーブルは「S-4C-FB」などの「S」で始まるCS・BS対応のものを使う
- 接続ケーブルのコネクターは、F型接栓タイプ (CS・BS専用ケーブルに対応) を使う

無線LAN経由で、パソコンやスマートフォンなどがインターネットに接続できない(または接続が不安定である)
本製品※2と無線ルーターの設置位置が近いと、電波がお互いの機器に影響し、接続できないことがあります。本製品と無線ルーターは約3 m以上離して設置することをお勧めします。
画面に「展示モード」と表示されている
展示モードになっています。 →P.23「展示モード(販売店専用)」の設定を「しない」に変更してください。

※2 無線通信に1.9 GHz帯を使用している中継アンテナなどの別売品も含まれます。

## モニター機で こんな表示が出たら

コード番号(U●●)付きのメッセージが出たときはコード番号で検索してください。コード番号なしのメッセージは、「その他の表示(コード番号なし)」欄に記載していません。

● 記載したコード番号や表示の一覧は、お問い合わせの多いもの(画面表示だけでは原因や処置がわかりにくいもの)などを抜粋したものです。記載以外のコード番号や表示が出たときは、表示に従って処置をしてください。

U3●(ドアホン関連)	
表示	原因と対応
U31	モニター機にドアホンを登録する際、ドアホンの登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。 → ドアホンをモニター機に近づけて登録操作をやり直してください。

表示	原因と対応
U35	<p>ドアホンをモニター機に登録する必要があります。ドアホンの取付けカバーを外し(P.26)、すべての電池を抜いてから登録操作を始めてください。</p> <p>---- ドアホンの登録のしかた ---- (モニター機の操作)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <sup>メニュー</sup>  を押し、「各種設定」を選び→「登録/減設」を選び→「登録」を選び→「ドアホン」を選ぶ ● 続けてドアホンの操作を行います。</li> </ol> <p>(ドアホンの操作)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 電池を入れ、約3分以内に表面の呼出ボタンを約5秒間押し ● LEDライトが点滅します。</li> </ol> <p>■ 「ピーッ」と鳴り、モニター機に「登録しました」と表示されたら完了です 「[U31] 登録できません」と表示されたときは、ドアホンをモニター機に近づけて登録操作をやり直してください。</p>

U4●(中継アンテナ関連)	
表示	原因と対応
U41	<p>モニター機に中継アンテナを登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。 → 中継アンテナの電源を確認し、モニター機に近づけて登録操作をやり直してください。</p>

U6●(ホームユニット関連)	
表示	原因と対応
U601	<p>ホームユニットにモニター機を登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。 → モニター機をホームユニットに近づけて登録操作をやり直してください。</p>

## その他の表示(コード番号なし)

ホームユニットとドアホンの接続を確認してください

### 〈原因と対応〉

ドアホンの電波がホームユニットに届いていません。

- ドアホンの電池残量を確認してください。(P.24)
- 電池残量に問題がない場合は、電波が届いていない可能性があります。ホームユニットとドアホン間の電波レベルを確認し(P.24)、電波の強い場所へ移動してください。

先にドアホンを減設してください  
減設したドアホンはホームユニットに登録してください

先に中継アンテナとドアホンを減設してください  
減設したドアホンはホームユニットに登録してください

先に中継アンテナを減設してください

### 〈原因と対応〉

ドアホンや中継アンテナが登録されているモニター機を、ホームユニットに登録しようとしています。

- モニター機をホームユニットに登録するには、モニター機に登録されている機器を先に減設する必要があります。画面に表示された機器をモニター機から減設してください。(P.32)
- また、減設したドアホンや中継アンテナ(※)は、必要に応じてホームユニットに登録してください。(P.30)
- (※) ホームネットワークシステムとして使う場合、ドアホンとモニター機間には中継アンテナは使えません。

## (電池セーブ2設定中)

ドアホンの呼出ボタンを3分以内に押ししてください

### 〈原因と対応〉

「ドアホン電池セーブ」の設定が「セーブ2」の場合は、ドアホンの設定変更などでドアホンと通信する際に、ドアホンの呼出ボタンを押す操作が必要です。(P.23)

- この表示が出ている間(3分以内)に、ドアホンの呼出ボタンを押してください。
- 設定を「セーブ2」以外に変更すると、次回から上記のボタン操作が不要になります。

### ご相談の前に

- ① P.40～44の「困ったとき」「こんな表示が出たら」をご確認ください。
- ② 裏表紙のパナソニック 総合お客様サポートサイトの「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などもご活用ください。

使い方・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 ( ) -

お買い上げ日 年 月 日

品番

修理を依頼されるときは…

上記①でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	●モニター壁掛け式ワイヤレステレビドアホン ●モニター壁掛け式ワイヤレステレビドアホンキット
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は、次の内容で構成されています。

**技術料** 診断・修理・調整・点検などの費用

※ **補修用性能部品の保有期間** **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

**部品代** 部品および補助材料代

**出張料** 技術者を派遣する費用

■転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙の「ファクス・電話機・ドアホンで相談窓口」「修理ご相談窓口」にご相談ください。

### 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

### お願い

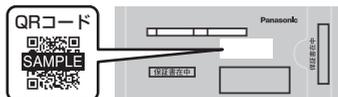
- 停電などの外部要因により、録画、通話などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼する前に、P.9「個人情報について」を必ずお読みください。

## 「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、抽選で商品券などが当たる  
詳しくはこちら <http://club.panasonic.jp/aiyo/>



- 保証書のQRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます。



# さくいん

## あ 行

明るさ設定 .....	21
アプリ取扱説明書 .....	31
液晶ディスプレイ .....	10
応答する （来客の呼び出し） .....	16
お手入れ .....	9
音量を変える ●受話音量 .....	21
●送話音量 .....	21
●呼出音量 .....	22

## か 行

ガイド表示 （OFF/ON） .....	19, 21
画像再生→「録画/再生」	
画像全消去 .....	23
カメラレンズ .....	10
逆光補正 .....	21
減設 .....	32

## さ 行

再生→「録画/再生」	
修理ご相談窓口..... 裏表紙 仕様 .....	34
照明(LEDライト) .....	10
●手動OFF/ON .....	21
●自動点灯設定 .....	23
初期化(ホームユニット) ...	42
初期化(モニター機) .....	23
新着ランプ .....	2, 10
●点灯/点滅の消し方 ...	11
●ランプ点灯設定 .....	23
ズーム →「ワイド/ズーム」	
スピーカー .....	10, 12
セキュリティ （スマートフォン連携時） ...	38
設定一覧・変更 .....	22, 23

## た 行

中継アンテナ .....	27
展示モード(販売店専用) ...	23
電池 ●使用可能な電池 .....	34
●電池セーブ設定 .....	23
●電池残量の確認 .....	24
●電池の交換 .....	26
電波の通信方式 .....	37
電波レベルの確認 .....	24
ドアホン .....	2, 10
ドアホン映像の画質 ...	10, 40
ドアホン照明自動点灯 ...	23
ドアホン電池セーブ .....	23
登録(ホームユニットへの登録) ●中継アンテナ ...	27, 30
●ドアホン .....	28
●モニター機 .....	28
●スマートフォン .....	29
●カメラや センサーなど .....	30
登録(モニター機への登録) ●中継アンテナ .....	27
●ドアホン .....	43
時計→「日時の設定・変更」	
トップメニュー .....	11

## な 行

日時の設定・変更 ...	14, 22
--------------	--------

## は 行

パン・チルト .....	20
プレストーク通話 .....	16
別売品 .....	33
ホームユニット .....	3, 12
保証とアフターサービス ...	45
ボタンガイド .....	11
●ガイド表示 （OFF/ON） .....	19, 21

## ま 行

マイク .....	10
モニター機 .....	2, 10
モニター(様子を見る) ...	17

## や 行

呼出音(音量・種類など) の設定 .....	22
呼出ボタン .....	10

## ら 行

ランプ(ホームユニット) ...	12
ランプ(モニター機) →「新着ランプ」	
リセットスイッチ .....	10
レンズカバー .....	10
録画/再生 ●自動録画/手動録画 ...	18
●録画の自動更新 .....	18
●録画の再生 .....	19
●画像の保護/ 保護解除/消去 .....	19
●画像全消去 .....	23

## わ 行

ワイド/ズーム ●ワイド/ズーム設定 ...	14
●ズーム位置設定 .....	15
●映像表示中の 切り替え .....	20
●ワイドの見え方 の設定 .....	21

## アルファベット

LEDライト →「照明(LEDライト)」	
microSDカード ....	13, 35

- 本機は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
- This product is designed for use in Japan.  
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

パナソニック 総合お客様サポートサイト <http://www.panasonic.com/jp/support/>

**使い方・お手入れなどのご相談**

**ファクス・電話機・ドアホンご相談窓口**

フリーダイヤル  **0120-878-983** パナは キュウハチサン 受付時間 9:00~20:00 (年中無休)

■ 上記電話番号がご利用いただけない場合  
**06-6907-1187**

■ FAX フリーダイヤル  **0120-878-236**

**Help desk for foreign residents in Japan**  
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787  
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

**修理に関するご相談**

**修理ご相談窓口**

フリーダイヤル  **0120-878-554** パナは イイヨ

■ 上記電話番号がご利用いただけない場合  
**03-6633-6700**

■ FAX フリーダイヤル  **0120-878-225**



**便利な修理サービスサイト**  
<http://club.panasonic.jp/repair/>

- ・ご相談の際は、ご使用の機器（ドアホン/モニター機/ホームユニット）に表示されている品番もお伝えください。
- ・ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。（パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります）
- ・ご相談におけるお客様の個人情報などのお取り扱いについてはP.45をお読みください。

<b>愛情点検</b>	<b>長年ご使用の ワイヤステレビドアホン ワイヤステレビドアホンキット の点検を！</b>	
	<b>こんな症状はありませんか</b>	<b>ご使用中止</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源を入れても動かないことがある。</li> <li>● こげくさい臭いや異常な音、振動がする。</li> <li>● 電源プラグやコードが熱を持っている。</li> <li>● 時刻表示が大幅にくるうことがある。</li> <li>● その他の異常や故障がある。</li> </ul>	<p>事故防止のため、電源プラグやACアダプターを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。</p>

パナソニック株式会社 コミュニケーションプロダクツ事業部

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic Corporation 2018



\*PNQX8631ZA\*

PNQX8631ZA N1217MTO  
Printed in Vietnam